

令和4年度入学者対象入学式 学長式辞（令和4年4月2日）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。桜の花が満開に咲き誇るなか、駿河台大学の教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。ご父母の皆さまにおかれましては、ご子息、ご令嬢のご入学を心よりお祝い申し上げます。

本学は、「愛情教育」を建学の精神として、昭和六十二年に創設されました。この愛情教育の精神は、「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し、自立へと促す教育」の実践を意味しています。本学は、この考え方に基づき、基礎的な教養や専門分野の知識、技能の修得を目指しています。

さて、皆さんが受験生として過ごされた期間は、新型コロナウイルス感染症が蔓延・拡大し、世界中がその対応をめぐる大きく揺れ動いた時期にあたります。またここに来て、ロシアの武力によるウクライナ侵攻が起これ、世界は騒然としてきました。皆さんは、激動の時代にあつて本学で学び、未来の予見が難しく、変動著しい社会の中で活躍するための力を身につけていかなければなりません。

本学は、皆さんがどのような仕事についても、この先長い将来にわたつて社会人として活躍するために必要な基礎的な能力、すなわち本学でいう「駿大社会人基礎力」を修得し、地域社会で中核的な役割を担うことのできる人材に育てることを、教育の重要な目的としています。この目的を実現するために、少人数で構成されるゼミ、主体的な学びを推進するためのさまざまな工夫がこらされた講義、体系的なキャリア教育のプログラム、「地域」を学びの場と位置付けたアウトキャンパス・スタディ、世界の各地に数多くある留学・語学研修の機会など、本学にはさまざまな学びの舞台や仕組みが準備されています。ぜひ、本学が用意した教育プログラムを積極的に活用してください。

「駿大社会人基礎力」を鍛える場は、授業の中だけではありません。例えば、本学に集まる、さまざまな地方や外国から来た学生たちと付き合うことも貴重な機会です。異なる文化、考え方、生活習慣を持つ人々の意見を尊重し、多様性を認めながら共通点を探り出し、課題の解決を図ることを学んでください。

こうした大学の学びは、高校までとはずいぶん異なり、はじめのうちは戸惑う人もいるかと思います。新しい生活の中で、さまざまな問題や悩みが出てくるかもしれません。どうか何かあったら一人で悩まずに、本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談してみてください。駿河台大学教職員一同は、皆さんの成長を願い、全力でサポートしていきます。皆さんが、本学の持つ恵まれた教育資源を思う存分に活用されて、大いに学び、楽しみ、実り豊かな学生生活を送られることを願つて、ご入学のお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

令和4年4月2日
駿河台大学 学長 大森 一宏